



去勢抵抗性前立腺癌の治療



ライフサイエンス

Keywords

去勢抵抗性前立腺癌、アンドロゲンレセプター



内木綾 准教授

所属

医学研究科 実験病態病理学分野

専門分野

基礎医学、実験病理学

所属学会

日本癌学会、日本病理学会、日本毒性病理学会

HP

<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/patho1.dir/>

研究概要

前立腺癌にはアンドロゲンを遮断するホルモン療法が効果的ですが、一部は治療に耐性を示す、悪性度が高い去勢抵抗性前立腺癌(CRPC)に進行します。本研究では、フラボノイドの一種であるルテオリンがmiR-8080を誘導し、CRPCの治療耐性と関連するandrogen receptor (AR)のスプライスバリエントAR-V7を抑制することでCRPCの増殖や治療耐性を抑制することを解明しました。ルテオリンやmiR-8080はCRPCの治療に役立つ可能性があります。

関連する論文・特許出願

- ① Naiki-Ito A et al., Recruitment of miR-8080 by luteolin inhibits androgen receptor splice variant 7 expression in castration-resistant prostate cancer. *Carcinogenesis*. 2020, 41:1145-1157.
- ② Naiki T, Naiki-Ito A, et al., GPX2 overexpression is involved in cell proliferation and prognosis of castration-resistant prostate cancer. *Carcinogenesis*. 2014, 35:1962-7.
- ③ 特開2018-177658 (P2018-177658A)
発明の名称：去勢抵抗性前立腺癌の治療
発明者：内木綾、高橋智



今後の展望

ルテオリンは、正常ARを抑制するmiRNAsを多く誘導することがわかっており、miR-8080と組み合わせたCRPCの治療法開発を目指します。

問い合わせ

産学官共創イノベーションセンター
(桜山キャンパス本部棟2階/事務局学術課内)
〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地
(名古屋市営地下鉄桜通線「桜山」駅③出口すぐ)
☎ 052-853-8309 FAX 052-841-0261
✉ ncu-innovation@sec.nagoya-cu.ac.jp



研究者からのメッセージ

CRPCの治療耐性を改善する分子標的と考えられます。薬剤を癌細胞に効率的に輸送するためのドラッグデリバリーシステムを導入したいと考えています。

最終更新日 2020/12/1

